

<患者さま用お知らせ>

## 母体血胎児染色体検査開始のお知らせ

当院産科・周産期科では、かねてより計画中でありました母体血胎児染色体検査に関する臨床研究を開始することになりました。

この検査は、母体血中の胎児由来の cell-free DNA 用いて胎児のトリソミー（21トリソミー、18トリソミー、13トリソミー）を検出する検査です。今回の検査は従来の検査よりもはるかに精度は高いのですが、陽性の場合の確定診断には羊水穿刺による染色体検査が必要とされているという点、また、検査できるのは上記3つのトリソミーのみであるという点をご理解の上で研究の参加をご検討いただければ幸いです。

今回の臨床研究内容は、この検査にかかわる遺伝カウンセリングに関するアンケート調査で、研究対象となるのは、下記のいずれかに該当するハイリスクの妊婦さんです。

1. 胎児超音波検査で、胎児が染色体数的変異を有する可能性が示唆された方
2. 母体血清マーカー検査で、胎児が染色体数的変異を有する可能性が示唆された方
3. 染色体数的変異を有する児を妊娠した既往のある方
4. 35歳以上の高齢妊娠の方
5. ご夫婦のいずれかが均衡型ロバートソン転座を有していて、胎児が13トリソミーまたは21トリソミーとなる可能性が示唆される方

当院の場合は、市中病院からの紹介制になっております。当院での検査を希望される際には、上記のリスクのある妊婦さんで、現在通院中の病院/クリニックからの紹介状を頂いた上での予約になります。

予 約 受 付 先：産科・周産期科外来（電話：011-611-2111(内線 3398)）

受 付 時 間：毎週 木曜 午後3時～4時

遺伝カウンセリング：毎週 木曜日午後、金曜日午後

\* 予約枠超過の場合には、紹介状があってもお断りする場合がありますのでご了承願います。

本研究は正式には「無侵襲的出生前遺伝学的検査である母体血中 cell-free DNA 胎児染色体検査の遺伝カウンセリングに関する研究」という名称で、多施設共同研究としてスタートします。尚、本研究は当院臨床研究審査委員会ならびに日本医学会の承認を得ております。詳細は <http://www.fetusjapan.jp/nipt/> でご確認ください。

担当：産科・周産期科 遠藤俊明、石岡伸一